



# 高原の風

嬉野市立大野原小中学校

令和4年12月26日 第14号  
文責 校長 武藤 敏

学校教育目標

「かがやく大野原っ子の育成」

～ 新しいことに挑戦 様々な人との協働 社会に貢献 ～

☆ やる気いっぱい ☆ 笑顔いっぱい ☆ 元気いっぱい ☆ わくわくどきどきいっぱい

## 「あすなろ会」会長選挙

令和5年の大野原小・中学校の児童生徒の代表を選ぶ「あすなろ会」会長選挙が12月7日に告示され、会長候補に中学2年生「坂田翔真さん」が立候補しました。

12/20 小学3年生以上の参加で、候補者の演説、投票が行われました。



明るく元気に、何事にも挑戦し、地域に貢献できる学校

投票の結果、坂田翔真さんが令和5年「あすなろ会」会長に決定しました。

新「あすなろ会」は、これまでの組織と異なり小学校と中学校合同で組織することとなり、本部は会長を含めて3名で組織し、委員会を「生活委員会」、「文化委員会」、「環境委員会」でそれぞれ7名のメンバーで構成しました。新メンバーは、委員長を中学生から選出し、副委員長を小学校から選出しています。令和5年を充実した学校生活にするためにも、新体制をしっかり構築し、全校児童生徒が「学校に行きたい！」と思える学校にしてほしいと思います。

旧あすなろ会の会長山崎咲良さんをはじめ、各委員会の委員長のみなさんお疲れさまでした。特に中学校3年生の皆さんは、学校の中心となり大野原小中学校の児童生徒を牽引して活躍していただいたことに改めて感謝いたします。「ありがとうございました。」

### 【本部】3名

会長	坂田 翔真 (新) 中3
副会長	池田 魁利 (新) 中2
総務	田中 朱明 (新) 中1

### 【生活委員会】7名

委員長	田中 艶佳 (新) 中3
副委員長	田中 唯翔 (新) 小6
委員	峯 漣心 (新) 中1
委員	山崎 四季 (新) 中1
委員	田中 繁幸 (新) 小5
委員	田中 結彩 (新) 小4
委員	前田 瞬哉 (新) 小4

### 【文化委員会】7名

委員長	田中 愛莉 (新) 中1
副委員長	峰松 希羽 (新) 小6
委員	澤田 陽 (新) 中3
委員	坂田 真凜 (新) 中1
委員	白似田結月 (新) 小5
委員	田中 慧汰 (新) 小4
委員	峯 心椰 (新) 小4

### 【環境委員会】7名

委員長	草場 真緒 (新) 中3
副委員長	田中 琉仁 (新) 小5
委員	峯 彩莉 (新) 中2
委員	白似田悠希 (新) 中1
委員	我那覇悠暉 (新) 小6
委員	田中紗亜来 (新) 小5
委員	山崎 麻杏 (新) 小4

## 「楽しかった！」「おいしかった！」クリスマスパンケーキ作り

12/22（木）に、小学校のクラブ活動で、田中悦子先生を講師に招いて「クリスマスパンケーキ作り」を行いました。調理手順も子供たちにわかりやすく、お家に帰ってからもご家族と一緒に作ることができるよう説明をしていただきました。子供たちが大好きなパンケーキ作りで、終始笑顔で活動していた姿が印象的でした。あま〜い、おいし〜いパンケーキをいただきました。



## 大野原小中学校も雪化粧(12/23 臨時休校)

23日、佐賀地方気象台から、九州北部上空に強い寒気が流れ込み平野部でも積雪の恐れがあるとの発表があり、嬉野市内の小中学校は臨時休校でした。特に大野原小中学校は、山間部にあることから児童生徒及び職員の通勤にも影響があると予想されたので安全第一の処置でした。

23日学校では、3〜5cmの積雪が見られましたが、スタッドレスタイヤを装着して、ゆっくり登って行ったところ、どうにか無事に到着できました。冬休み前の貴重な1日でしたが、安全を考えると休校で良かったと思いました。通勤した職員で、児童生徒の健やかな成長を願って、小さな雪だるまを作ってみました。



## 「NHK 佐賀放送局 局長賞」おめでとうございます。

5年生の田中唯翔さんの作文が「NHK 佐賀放送局局長賞」に選ばれました。唯翔さんのお父さんお母さんを尊敬している気持ちや、お手伝いをして楽にさせてやりたいとの気持ちが伝わってきます。

自分の将来像についても触れ、素直な気持ちを表現することができており素晴らしい作文だと思います。受賞、おめでとうございます。（以下、入賞作品です。）

NHK 佐賀放送局局長賞 「ぼくの大好きなお茶」 嬉野市立大野原小学校五年 田中唯翔

ぼくの家は、お茶農家です。いろいろな場所に落ち茶畑があり、お父さんがほぼ毎日一人で管理しています。暑い日も寒い日も朝早くから暗くなるまで仕事をがんばっているお父さんはかっこいいと思います。ぼくは、お父さんが作るお茶が大好きです。暑い日は水出し緑茶。寒い日は、温かいお茶にして飲んでいます。水出し緑茶は、お茶の甘みが出て冷たく、暑い夏にはとても飲みやすいです。

温かいお茶は、寒い冬に飲むと、身体も温まり、気持ちもホッとしておいしいです。

お茶つみの時期は、四月中旬から五月中旬までが一番茶。六月上旬から七月上旬までが二番茶です。そしてお茶つみ前には、お茶をおいしくするために、パロンという黒い布のようなものをかぶせます。それからしばらくおいて、つむ前にはがしてつみます。ぼくには二才下の弟と五才下の妹がありますが、休みの日になると、茶畑に行き、パロンかぶせなどを手伝います。パロンはとても重くて、ぼくたちはなかなかかぶせるのは難しいけど、パロンが飛ばないように、洗たくパサミのようなピンをつけていきます。四月や五月だけど、とても暑い日にしたりするので、お父さんお母さんもすごいなあと思います。

手伝いをする、とても助かるって言ってくれるので、ぼくたちもうれしいし、何より家族ですごせて、一緒にいる時間ができるので、がんばれます。お茶つみが始まるとお父さんは、ねないで仕事をしている時があって、とてもきつそうです。なので、ぼくも休みの日や学校から帰って来た時は、少しでも手伝いになればと思い、がんばっています。ぼくは覚えてないけど、赤ちゃんのごころから、茶工場ですごしていたそうです。つんだお茶を生葉といいますが、二才のごころから生茶入れを手伝っていたと聞いて、ビックリしました。そんな小さなごころから、手伝っていたので、自然とできることも増えていったとお母さんが教えてくれました。ぼくは、お父さんが作ったお茶が大好きなので、もっと飲んでくれる人が増えてくれたら、うれしいです。

「今は、いろいろな飲み物があって、お茶を飲む人が減って、少し残念。」とお父さんが話していました。お茶は身体に良いし、おいしいので、もっとたくさんの人達に飲んでもらえたらいいと思います。しょう来の夢は、まだはっきり決まっていなくても、お茶にも少しずつ興味ができました。これから、お父さんの手伝いをしながら、お茶のおいしさをたくさんの人達に伝えていきたいです。十年後ぼくが、お茶の仕事をしているのが楽しみです。

（評）「ぼくは、お父さんが作るお茶が大好きです。」という気持ちがよく伝わってきます。お茶つみなど、家族みんなで協力しながら、お茶づくりをしている様子が生き生きと表現されています。「お茶のおいしさをたくさんの人に伝えたい。」という思いが届きますように。